

【南禪寺文書】 山城

一六二

南禪寺領加賀國得橋郷加納得南・益延・長恒等三名、任徳治・延慶兩度院宮寺家管領不可有相違之由、院御氣色所候也。仍執達如件。

正和元年十一月廿九日

頼 藤 在判

如鏡上人方丈

正和三年

甲寅

紀元一九七四

九月十六日。珠洲郡長橋神明宮の神主吉秀、同社に鰯口を献る。

【長橋神明宮鰯口銘】 珠洲郡

一六三

正和三年九月十六日

施主大宮内大輔從五位下神主吉秀

正和四年

乙卯

紀元一九七五

十二月二十日。長幸連、その子季連に羽咋郡土田莊上村半分等を讓る。

【得田文書】

一六四

讓渡 長七季連
濃登國土田庄上村半分

足利御庄給田壹町 在巢口驛

相模國愛甲船子屋敷東野畠貳段

同給田壹町 在直器作

參河國富永保内助吉名但讓渡者
可爲長七分

右所々所領屋敷給田給畠等、存日所讓與如件。

正和四年十二月廿日

沙彌了甲 在判

在判

任此狀可領掌之狀如件。

文保二年九月十七日

了甲とあるは、元亨二年五月廿三日附の文書に、長木工左衛門尉幸連法師法名了半と見ゆ。

正和六年

丁巳

紀元一九七七

文保元年

二月三日

改元

三月廿三日。幕府、海野信直の妻に酒井利忠が

沽却したる鹿島郡酒井保内の山野を安堵せしむ。

【永光寺文書】 鹿島郡

一六五

酒勾八郎頼親女子平氏海野三郎
信直妻申能登國酒井保内山野

新田畠四至塚事
載放券事

右山野新田畠者、酒井十郎左衛門利忠放券之間、延慶三年

八月廿八日買取訖。可給下知之由、氏女依申之、爲尋

實否下召符之處、應長元年十月十八日請文者、沽却之條

不及子細云々。且當保私領之旨、前々其沙汰訖。然則於

山野新田畠者、任利忠沽券、氏女可令領掌者。依鎌倉

殿仰下知如件。

文保元年三月廿三日

(北條高時)
相模守平朝臣 在判
(金澤貞顯)
武藏守平朝臣 在判

三月廿三日。幕府、海野信直の妻に酒井章兼が沽却したる鹿島郡酒井保内の山野を安堵せしむ。

【永光寺文書】 鹿島郡

一六六

酒勾八郎頼親女子平氏海野三郎
信直妻申能登國酒井保内山野

四至塚事
載放券事

右山野者、酒井余三章兼永代沽却之間、延慶三年八月三日

買取訖。可給御下知之由、氏女依申之、爲札明實否遣

召符之處、如應長元年十月十日請文者、沽却之條無子

細云々。且當保私領之旨、前々其沙汰訖。然則任章兼放

券、氏女可令領掌者。依鎌倉殿仰下知如件。

文保元年三月廿三日

(北條高時)
相模守平朝臣 在判
(金澤貞顯)
武藏守平朝臣 在判

文保二年 戊午 紀元一九七八

六月二十日。石川郡白山宮末社荒御前等の遷宮

を行ふ。

【白山比咩神社文書】 石川郡

一六七

荒御前御遷宮日記 文保貳年六月廿日夜戌尅